

長野県議会 改革・新風
会派だより

第1号 (2011年) 平成23年7月

発行・編集/改革・新風
長野県庁県議会棟内(026)232-0087
発行責任者 倉田 竜彦 印刷所 中外印刷KK
http://www.kaikaku-shinpuu.com

6月定例会

147億4000万円余 補正予算などを可決

六月定例会県議会は、6月23日開会し、7月8日までの16日間の会期で開催されました。前年比5倍以上の147億41,212,000円の一一般会計補正予算案等の知事提出議案、地方財政の充実・強化を求める意見書案等議員提出議案など全議案が可決されました。

新人6名を含む10名が一般質問

- 小島議員**
- 新しい長野県づくりと中期総合計画について
 - 投票率の向上と県民の県政への参加について
- 下沢議員**
- 上高地での土石流被害について
 - 震災後の経済問題について
 - 自然エネルギーについて
 - 今年の夏の電力供給不足への対応状況について
 - 「自然エネルギー・信州ネット」について
 - 震災の影響による雇用問題について
 - 災害拠点病院の災害対応について
- 山岸議員**
- 信州の観光戦略について
 - 再生可能エネルギーの活用について
- 壘議員**
- 震災被災者の県職員雇用について
 - 雇用問題について
 - パーソナル・サポート・モデル事業について
- 荒井議員**
- 地域防災計画について
 - 中小企業振興条例(仮)
- 依田議員**
- 福島原発事故をふまえた今後のエネルギーへの取組について
 - 地域防災計画の見直しについて
 - 災害時のライフラインの確保について
 - 地域自主防災組織の確立について
 - 復旧復興の現状と人員配置について
 - メガソーラープロジェクトについて
 - 森林整備について
 - 外国資本等から水源地を守る施策について
 - 南佐久郡の地域医療について
- 中川議員**
- 福島原発事故をふまえた今後のエネルギーへの取組について
 - 地域防災計画の見直しについて
 - 災害時のライフラインの確保について
 - 地域自主防災組織の確立について
 - 復旧復興の現状と人員配置について
 - メガソーラープロジェクトについて
 - 森林整備について
 - 外国資本等から水源地を守る施策について
 - 南佐久郡の地域医療について
- 石和議員**
- 子どもをとりまくメディアの影響について
 - 医療再生について
 - LED照明の活用について
 - 中京圏を対象とした観光振興について
 - リニア中央新幹線について
- 吉川議員**
- 福島第一原子力発電所事故による放射能汚染から子どもを守る受入れ体制について
 - 長野県の外郭団体整理統合について

会派15人でスタート!



- 吉川 彰一 (財務委員長)
 - 石和 大 (政策審議副会長)
 - 壘 裕一 (広報企画委員長)
 - 荒井 武志 (政策調査副会長)
 - 小島 康晴 (政策審議副会長)
 - 中川 博司 (政策審議副会長)
 - 竹内 久幸 (幹事長)
 - 堀場 秀孝 (政務調査副会長)
 - 倉田 竜彦 (代表)
 - 依田 明善 (政策審議副会長)
 - 寺島 義幸 (副代表)
 - 山岸 喜昭 (政務調査副会長)
 - 野澤 徹司 (幹事長代理)
 - 続木 幹夫 (広報企画副委員長)
 - 下沢 順一郎 (政務調査会長)
- ()内は会派役職

阿部知事に要望活動

6月8日、会派「改革・新風」では、5月の栄村への視察結果等を踏まえ、「当面する課題に関する提言の申し入れ」として、以下の7項目を中心として阿部知事への要望活動を行いました。

- (1)震災による県内経済・雇用への影響を継続的に実態調査し、引き続き切れ目のない対策を講じること。
- (2)災害復興を全力で進めるとともに、地域防災計画の見直しなど早急に取組み、心配される東海地震や内陸型直下地震への備えを行うこと。
- (3)安心子ども基金など本県にとって使い勝手のよくない基金を改善し、震災からの復興や当面の経済・雇用対策に弾力的に活用できるように働きかけること。
- (4)「雇用基金」を活用し、本県に避難されている被災者の方々の県の嘱託職員として採用する制度を創設するなど、生活の安定を図ること。
- (5)海外へ輸出する農林水産物・食品の放射能検査を行うための機器を導入し、県内での検査体制を確立すること。
- (6)県職員が一丸となって復興支援に取り組めるよう、簡素で効果的なプロジェクトを編成すること。
- (7)県が関わる建築物について、公共建築物等における木材の利用の促進に関する法律を踏まえ、県産材の活用を進めるよう格段の配慮をすること。

栄村の被災地を視察

5月16日、会派で栄村の被災状況の視察に行きました。地震発生から2ヶ月が経過して今なお生々しい爪痕が残る道路や橋、倒壊した家屋や残った赤札が貼ら

れた建物、農地のひび割れや陥没、傾斜等の被災状況、5月中旬から入居が始まった仮設住宅の建設現場などの調査を行いました。忙しい中時間をとってくださ



東京事務所現地調査

6月15日、長野県の東京事務所の視察を行いました。県内への企業誘致の現状や首都圏での県産品の販売状況、昨年度東銀座にオープンしたアンテナショップなどについて説明があり、出席した議員と職員の間で活発な質疑応答が行われました。



竹内幹事長、副議長就任

5月臨時会で、我が会派「改革・新風」の竹内幹事長の副議長就任が全員賛成で決まりました。

で長野県議会が進めてきた議会改革に向けての様々な取り組みを紹介し、議会改革で全国上位に評価されている点を強調する一方で、今回の県議選での低投票率など県民にとって県議会が遠い存在であることに触れ、更なる「議会改革」を推進し、県民に身近で信頼される県議会という各議員の共通目標の達成に向かって議会の円滑な運営に務める旨の決意を表明しました。



立候補者の所信表明会で竹内幹事長は、これまで

5月臨時会

改選後初の議会である5月臨時会が5月9日12日に開かれ、議長・副議長の選挙、議会運営委員会及び各常任委員会の委員と正副委員長の選任が行われました。なお、東日本大震災及び県北部の地震災害等に関する議案が緊急を要するとして提出され、全会一致で可決されました。

常任委員会 (◎委員長 ○副委員長)			
総務企画警察	倉田竜彦	寺島義幸	○壘 裕一
健康福祉	○吉川彰一	続木幹夫	
環境商工観光	◎小島康晴	山岸喜昭	依田明善
農政林務	荒井武志	中川博司	
危機管理建設	◎野澤徹司	堀場秀孝	
文教企業	下沢順一郎	石和 大	
議会運営	倉田竜彦	○下沢順一郎	吉川彰一

明をいただき、現場の要望等も聞かせていただきました。



今期最初の一般質問(通算17回目)

小島康晴の 県政レポート

VOL 17

飯田市高羽町3-1-7 TEL・FAX(0265)23-5388



6月県議会

トップバッターで今期最初の一般質問 新たな総合計画の開始年度を明らかに

一般質問

県政報告第17号をお届けします。運良く一番くじが当たり、改選後最初の一般質問はトップバッターで登壇しました。昨年11月議会で「平行線」となっていた中期総合計画の開始年度についてなど、知事の姿勢を質しました。

新しい長野県づくりと中期総合計画

計画の初年度は25年度

【小島議員】昨年11月議会では、知事はあくまで「1年前倒ししたい」という考えであったが、新たな総合計画の初年度は平成25年度と理解してよいか？

【阿部知事】大震災やリニア中央新幹線の計画決定などを踏まえ、十分なプロセスを踏むため、平成25年度を初年度とする計画を平成24年度中に策定したい。

目標がはっきりし、計画づくりに専心できると思われます。議会としても、私としても、よりよい計画づくりのため、県民の皆さんとともにしっかり取り組んで参ります。

目指すべき方向性

【小島議員】飯田市は故田中秀典前市長のもとで策定した基本構想で、目指すべき都市像を「環境文化都市」とした。この度の事態を見ると、まさに時宜を得ていると思われる。知事を目指す新しい「長野県づくり」の

任期の開始に当たって

2期目の任期が始まりました。多くの皆様のご支援をいただいたことを胆に銘じ、地域の課題の解決や県政発展のため、政務調査活動に全力で取り組みます。いっそうのご指導ご鞭撻をよろしくお願いします。

方向性は？

【阿部知事】長野県が持っている地域の絆や自然環境、伝統文化、培ってきた技術などを活かし、豊かで安心して暮らせる長野県を目指したい。

県民参加の計画づくり

【小島議員】計画づくりについて、県民参加の方策をどのように考えているのか？

【阿部知事】すでに千件を超える意見等が寄せられている。様々な場面に私や審議会委員などが向き、県民との対話を重視して、多くの県民と創る計画にしたい。

【小島議員】計画策定後の県民参加も大切ではないか？(再質問)

【阿部知事】計画策定後の進捗状況の報告など県民参加の方策を、計画策定の中であわせて議論を深めたい。

投票率の向上と県民の県政への参加

【小島議員】今回の県議選において、投票率向上のためにどのように取り組んだのか？

【選管委員長】各種広報媒体を活用して、投票日の周知や投票参加の呼びかけを行った。投票日当日

委員長として委員会を進行

環境商工観光委員会

今年度は環境商工観光委員長を担当します。この議会で初めて本格的に委員会審議を進行しました。

環境部関係では、省エネルギー・新エネルギーについての議論がされました。特に、千曲川流域下水道放射



委員長席にて



委員長報告

観光部関係では、観光振興対策について議論がされ、県内への観光客が減少していることから、一層の取り組みに努めるよう要望しました。

また、商工労働部関係では、震災後の経済対策について議論がされ、県内の経済、雇用情勢は、依然として厳しい状況にあり、総合的な景気対策に全庁を挙げて取り組むよう強く要望しました。

責任増す2期目の任務

2期目となり、会派の政策審議会長や飯伊県議団の幹事長、いくつもの議員連盟の副会長や事務局長を担当することになりました。それぞれの務めをしっかりと果たしながら、「県民の生活が第一」の県政につながるようがんばりたいと思っています。



知事に提言内容を説明



リニアで知事と懇談



議長に改革推進を申し入れ

一面にもあるとおり、被災から2か月後の栄村の被災状況を調査しました。似たような地形の中山間地域をかかえる当圏域にとつて、他人事とは思えません。防災対策の見直しなど早急に取り組みます。

他人事ではない 栄村の被災状況



倒壊した建物



引き裂かれた田んぼ

みなさまのご提言やご要望をお寄せ下さい。

長野県議会 改革・新風

〒380-8570 長野市南長野字幅下692-2
電話(026)232-0087 FAX(026)231-5592
HP://www.kaikaku-shinpuu.com
E-mail:info@kaikaku-shinpuu.com